|  |  |
| --- | --- |
| 研究題目 | 魚群探知機と水域ネットワークを用いた定置網漁法の効率化 |
| 学生氏名 | 榊原 萌 |
| 指導教員 | 田房 友典 |
| 概要 | 定置網漁法とは、海底の一定の場所に網を設置し、定期的に網起こしを行って魚を獲る日本の漁法である。無差別に魚を獲ることがないため持続可能な漁法といえるが、網起こしを行う前に漁獲量や魚の種類がわからず、場合によっては損失が与えられることがある。漁に出る前に定置網の状態を知ることができれば、魚が多くかかっている日にのみ漁を行うことができるため、定置網漁法を効率的に行えると考える。  本研究では、定置網の状態を陸上で確認できるように、省電力無線LANと2台の魚群探知機を使って、陸上と海上に水域ネットワークを構築する。定置網に設置した魚群探知機の情報を、無線LANを通じて陸上の魚群探知機に表示させることで、陸上から定置網の状態を確認できるようにする。 |